

2022年度 日本工学院専門学校											
マンガ・アニメーション科四年制											
ビジネススタディーズ											
対象	1 年次	開講期	通年	区分	必修	種別	講義	時間数	45	単位	3
担当教員	高田 悠平			実務経験	有	職種	マンガ編集者				
担当教員紹介											
マンガコースの概論授業担当。マンガ編集者。 映画「BAKUMAN」やユーキャン「行政書士合格指導講座」など企業マンガや、縦型スクロールマンガの編集など多数の実績を持つ。											
授業概要											
この科目では、「物語」「絵」「演出」「言葉」のに焦点を当て、研究・考察を行うことにより作品制作において多角的な考え方や視点が必要であることを理解すると同時に、第三者としての目線で作品および業界の分析を行うことの重要性を意識する。さらには、言語表現における多様性を知覚することで言葉の大切さを改めて実感することを学習目的とする。											
到達目標											
この科目では、マンガを主な題材として作品から作者の意図や考えを、第三者としての視点を持つ重要性を理解することにより、読み解く力を磨き分析力を身に着ける。その上で、作品に込められたメッセージが読者にどのように届けられ影響を与えているかを考え、業界への意識を高めると共に、自らも作品を制作しプレゼンテーションを行うことで、伝える工夫や言葉に置き換える言語化を向上させることを到達目標とする。											
授業方法											
この授業では課題内容に応じて「分析」と「発表」に重きを置き、多角的な視点と自身の考えを言葉にする力を磨いていく。まずレクチャーを行い、次に授業におけるテーマについて個々で分析を行う。その後、個人ワークまたはグループワークとして作品を発表する。分析の際は、マンガだけでなく他のコンテンツとの関連性も意識することにより、日常的に分析する意識付けを図る。											
成績評価方法											
試験・課題	60%	課題の内容や分析力を総合的に評価									
成果発表	20%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価									
平常点	20%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価									
履修上の注意											
多角的な視点や考えを磨くため課題毎の分析を怠らず、先生の話はもちろん、他学生とのディスカッションを真剣に聞くだけでなく前向きに発言を行う姿勢を持つこと。個人ワーク、グループワークの際は資料検索の為にスマートフォンやタブレットの使用を許可する。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
必要に応じて授業にて資料配布を行う											
回数	授業計画										
第1回	本概論の内容を説明 マンガに関する認知度のアンケートを実施										
第2回	アンケートに関する回答 クラス内でのマンガに対する認知度を知る										
第3回	「脚本」「絵」「演出」「言葉」の4点に分けてマンガの形式を理解する										
第4回	様々な作品を紹介しマンガ表現の多様性を知る その上で2コマ漫画を制作										
第5回	感情や情報をアウトプットする重要性を意識する 前回の課題の講評										

2022年度 日本工学院専門学校	
マンガ・アニメーション科四年制	
ビジネススタディーズ	
第6回	日本最古「鳥獣戯画」～1950年代 マンガの神様「手塚治虫」漫画文化に触れる
第7回	1960年代「トキワ荘」～1990年代「ジャンプ黄金期」漫画文化に触れる
第8回	200年代以前と以降のマンガをグループで研究を行い時代による変化を分析する
第9回	グループで研究した内容をクラス全員に発表
第10回	バンド・デシネとアメコミを紹介をして海外の表現方法に触れる
第11回	参考作品を読みながら読者を意識したコマワリ・演出を学び「作り手」の意図を読み解く①
第12回	参考作品を読みながら読者を意識したコマワリ・演出を学び「作り手」の意図を読み解く②
第13回	マンガの演出によって与える印象について解説 テーマを統一した1Pのマンガを制作
第14回	前回の作品を引き続き制作
第15回	前回制作したマンガを講評